

新型コロナウイルス感染症が5類扱いとなり、今年度は色々と事業展開をしていきたいと思ひます。ただ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大で進んだWebを利用した参加形態も一部では残すことにより、子育て世代や遠方の会場で参加しにくい方などの参加ができるような形態もとりたいと思ひます。その他、学術事業や衛生思想事業につきましても各研究班、関連団体と協議しながら計画通り事業を進めてまいります。2019年から施行された「働き方改革関連法」に関して、医師への適応も2024年4月より開始されます。これに伴いタスクシフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会を本年度も継続して開催し、臨床の場で臨床検査技師が行える行為が広がることで活躍できる技師を増やしていきたいと考えています。

昨年度は京臨技が創立から70周年の節目を迎えることができ、これに伴い記念誌の発行を行います。そして今年度は71年目の新たな年として進んでいきたいと思ひます。行政関連や京都府内の医療系団体の皆様及び、近畿圏の各地臨技の皆様ともつながりを強化し、ともに協力しながらコラボ企画なども行えたらと考えています。

1. 衛生思想事業

1-1くらしと健康展

47年間開催されてきた「くらしと健康展」ですが、京都市の財政不足の影響で予算(補助金)が今年度から無くなり、残念ながら昨年度限りで「終結」とされました。また違った形式にて企画されることを期待します。

1-2京都府医療推進協議会主催イベント

この数年、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため活動休止中ですが、再開されれば社会公益活動の一環として協力していきます。

1-3子宮頸がん啓発活動LOVE49

子宮頸がんに関する啓発や検診の受診率アップなどは京都府民の疾病予防に大切なことと考えており、啓発活動を継続します。

1-4全国検査と健康展京都会場(日臨技公益委託事業)

京都府民に臨床検査と臨床検査技師のことを広く知ってもらい、健康診断の関心を高め、健康増進につなげてもらうことを目的として開催します。一人でも多くの方に参加いただけるように創意工夫を凝らした企画をします。

1-5府・市民公開講座

継続的に府・市民公開講演会を行うことで、臨床検査技師の知名度向上や府市民への臨床検査の理解が深まっています。地域社会の人々の健康の保持・増進をはかり、疾病を予防するための企画を行い開催します。

1-6あやべ食育・すこやかフェスティバル

行政主催のイベントに関わることで地域社会の人々の健康の保持・増進をはかることに加えて、臨床検査の啓発活動や知名度向上も期待できます。行政と相談しながら積極的に企画・開催します。

1-7舞鶴市糖尿病講演会

糖尿病の理解を深めて健康増進をはかることに加えて、超音波検査技術など我々が持つ検査の知識や技術を使った活動を行うことで臨床検査技師の知名度向上も期待できることから、引き続き企画・開催します。

2. 精度管理事業

2-1精度管理事業

府内の医療機関や衛生検査所の臨床検査の実情を把握し、標準化の推進および臨床検査の質の向上を図ることを目的として、京都府医師会と合同で精度管理調査を行います。また、昨年度より新たに実施したバーチャルスライドについては、膨大な画像データや閲覧ソフトのダウンロードの問題を解決すべく、クラウド上のデジタル標本画像を閲覧できる仕組みを導入します。

2-2 合同報告会

京都府医師会と合同で精度管理調査事業を実施し、参加施設にとって意味のある精度管理調査となるよう、実情の把握、標準化推進の補助、検査レベル向上を目指し、各研究班合同での報告会を開催します。

2-3 京都府・京都市 京都衛生検査所精度管理専門家会議

京都衛生検査所精度管理専門家会議への参加、立入検査に同行し協力していきます。

3. 研究講習事業

3-1 学術研究班

臨床検査の知識・技術の向上を支援する事業計画を作成しました。昨年度に続き実技講習会今年も各研究班で企画しています。残念ながら今年度も新型コロナウイルス感染症の状況による変更の可能性はありますが、Webを活用した方法で計画的な事業を展開します。

A. 【生理検査研究班】

現地参加をベースにWebを取り入れ、より多くの会員が参加できるようハイブリッド形式での研修会を開催します。昨年度に引き続き実技講習会の開催や、他府県技師会との共同開催などに向けて積極的に取り組み、会員の皆様に充実した学術情報を提供していきます。

研修会	8回
講演会	1回
実技講習会	1回
会場:	京都保健衛生専門学校など
連絡先:	山田 雅(京都市立病院)

B. 【輸血検査研究班】

安全で適正な輸血療法を行うために必要な輸血検査の基礎知識から最新の知見や動向を取り入れた内容を企画します。輸血検査に関しては、近年、全自動輸血検査装置の普及により用手法(試験管法)での機会が減少しつつあります。しかし、機器の故障や予期せぬ反応に遭遇した場合は用手法で実施することになります。今年度は試験管法とカラム凝集法の初級者向け実技講習会を開催します。京都府下の技師の輸血検査向上に貢献できるよう研究班一同で研修会を開催します。

研修会	2回
講演会	1回
実技講習会	2回
会場:	京都保健衛生専門学校など
連絡先:	日下部 昌平(京都南病院)

C. 【臨床化学・血清検査研究班】

臨床化学免疫血清に携わって間もない技師でも気軽に参加できる研修会を開催します。8月のサマー研修会はWebハイブリッド形式にて臨床化学の基礎、データ判読、トピックスを含めた幅広い内容を企画します。2月の実技研修会(みやこ研修会)では、用手法で分析の基礎を学べる研修会を予定していますが新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑みながら開催の可否を決定します。

研修会	3回
研修会(有料)	1回
実技講習会	1回
会場:	京都保健衛生専門学校など
連絡先:	岡崎 一幸(京都大学医学部附属病院)

D. 【血液検査研究班】

血液学検査や凝固・線溶検査、血液疾患について基礎から最新情報まで幅広く学ぶことができる講演会を開催します。講演会では講師・参加者全員で活発なディスカッションが行える症例検討、認定血液検査技師に関する情報提供も企画します。また、昨年度再開した顕微鏡実技講習会(現地開催)も開催します。

講演会 2回
実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校、キャンパスプラザ京都など
連絡先: 田辺 祐也(京都第二赤十字病院)

E. 【病理・細胞検査研究班】

新型コロナウイルス感染症の感染対策を十分に行い、会場参加型のみの企画とせず、ハイブリッド型やWeb研修を積極的に取り入れ、病理・細胞検査に必要な知識や技術の習得・向上を目指し、研修会・講演会・実技講習会を開催します。病理・細胞検査の横断的な内容やマネジメントを含めた総合的な能力の習得、他府県やメーカーとも協力し、ゲノム医療関連を含む先進的な内容、新しい情報・知識・技術も取り入れられるような内容を企画します。後進の育成に役立つ内容や企画を考え、開催曜日や会場を厳選して、できるだけ多くの方が参加しやすいよう考慮し、活発な活動を行います。

研修会 3回
講演会 1回
実技講習会 1回
会場: 京都府立医科大学附属病院、京都保健衛生専門学校など
連絡先: 竹腰 友博(京都市立病院)

F. 【一般検査研究班】

基礎的なことから応用まで学べるような基礎研修会を開催します。京臨技精度管理調査にて理解されていないと思われる内容も含め、参加者の知識・技術の向上に役立つような研修会にしていきます。また、昨年度に開催できなかった髄液検査についての研修会も開催します。

研修会 5回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 藤内 千歳(京都第二赤十字病院)

G. 【微生物検査研究班】

AMR(薬剤耐性)やAS(抗菌薬適正使用支援)に対応できるよう最新の情報を発信したり、感染症診断・治療に役立つ臨床とのコラボレーション企画、医療関連感染対策、感染対策地域連携に貢献できる幅広い知識を得られるような学術活動を目指します。京都府下から認定微生物検査技師をより多く輩出できるよう実践に即した研修内容にし、知識と技術を確実に習得できる研修会や実技講習会を開催します。

研修会 2回
実技講習会 2回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 山田 幸司(京都府立医科大学附属病院)

H. 【情報システム研究班】

情報発信・情報伝達に関わる様々なテーマを選んで研修会を企画します。情報システムを有効的に使用することによって、臨床検査業務を効率よく行うことができ、その利用範囲は大きくなってきています。臨床検査技師が情報システムに慣れ親しむための研修会を開催します。また、他団体が開催する研修会への講師派遣や、会員へのメールマガジン発信も積極的に行います。

研修会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 増田 健太(京都大学医学部附属病院)

I. 【遺伝子検査研究班】

実技講習会を開催し遺伝子検査の精度向上を行います。また研修会や講演会で、基礎から応用まで情報提供を行います。

研修会 1回

講演会 1回
実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校など
連絡先: 白井 洋紀(京都第一赤十字病院)

J.【北部検査研究班】

各分野の基礎的な知識や技術、最新の話題や興味のある内容で、会員が参加しやすい研修会を開催します。また情報を的確に捉え、各会員、各施設が共有できる話題を提供します。

研修会 6回
会場: 綾部市立病院、西駅交流センターなど
連絡先: 園田 真之(丹後中央病院)

K.【南部研究班】

Webでの研修会を中心に開催するとともに会場での開催も出来ればと考えています。生理検査・検体検査分野における基礎的な知識の習得および最新の話題や興味ある内容で研修会を企画・開催します。京都府南部の施設に勤務されている方の情報共有の場になるような活動を行うとともに、Web研修会の利点を生かして南部地区以外の方も参加も歓迎します。

研修会 3回
会場: 京都山城総合医療センター、宇治徳洲会病院、田辺中央病院など
連絡先: 馬場 昭好(田辺中央病院)

L.【チーム医療研究班】

医療人としての総合力を向上させ、チーム医療の一員として存在感を示せる臨床検査技師を目指します。検査データから病態を読み解くR-CPCや、認知症予防講演会、POCT・ワクチン接種・救急などタスクシフトに関する研修会、理学療法士から学ぶ実技講習会など、専門分野や職種の垣根を超えて幅広く学び、知識と技術を向上させる研修会を開催します。

研修会 4回
講演会 1回
実技講習会 1回
会場: 京都保健衛生専門学校 など
連絡先: 齊藤 祐巳子(京都大学医学部附属病院)

4. 広報事業

4-1会誌

会誌 2023.Vol.50「令和5年度総会号」(令和5年8月1日発行予定)
創立70周年記念誌 発行予定

4-2会報(ニューズレター)

年3回発行を予定しています。
よりよい広報誌づくりのため、会員へのアンケートを行います。

4-3ホームページ

京臨技主催の研修会情報や関連団体の行事に関する最新情報を迅速に掲載します。また、研修会参加の際に、スマートフォンの画面に表示して会員資格を証明するデジタル会員証システムにて、会員への便宜をはかります。

会員からの問い合わせについては「お問い合わせフォーム」を設置して利便性を高め、担当理事から迅速に回答します。

4-4メールマガジン

発行数が1050号を超えたメールマガジンについて、引き続きほぼ毎週発行します。

5. 会員向け啓発事業

5-1 定時総会

会員が参加しやすいように、電磁的投票・Web参加を可能とし、京臨技定款に沿って定時総会を開催します。

5-2 新入・転入会員研修会

日臨技・京臨技の組織と運営の説明と、「日直・当直時に知っておくと役立つ知識」を、さらにグレードアップして企画・開催します。各研究班から基礎的な知識や注意事項などについての講演を行います。新入会員だけでなく多くの参加者に、明日から使える知識が得られる研修会を目指します。

5-3 京臨技北部学術発表会

北部の若手会員を中心に演題発表の練習の場として開催します。また、施設間の協力強化、情報交流を行います。

5-4 施設連絡責任者会議

技師会の活動報告とその時々の医療情報を話題に取り上げ、施設連絡責任者の方々と情報交換ができる貴重な機会となるよう企画・開催します。

5-5 京都病院学会

京都の医療を支える活動の一環として、また他部門の業務を理解する貴重な行事として、京臨技より参加・協力していきます。今年度の開催形式は未定ですが、多くの会員に参加していただけるよう広報活動も行います。

5-6 地域ニューリーダー育成研修会・初級職能開発講習会

本事業は技師会や職場などで活躍できる、次世代を担うリーダーの育成をテーマに企画されています。今後の社会情勢や臨床で活躍するためには、医療情勢や臨床検査技師の未来像、組織目標達成に向けた考え方や、現状分析、課題解決力、人材育成やコミュニケーション力を学ぶことが重要となります。これらの能力開発と人材確保を目的として、日臨技と歩調を合わせて開催を検討します。

5-7 第4回京都医学検査学会

毎年2月23日に開催している京都発の学会であり、第4回目を開催します。研究発表や育成企画及び情報交換により、京都府下の臨床検査技師の発展を目的としています。また、これから学術活動をはじめようとする会員のはじめの一歩となるような学会でありたいと考えています。各施設からの多数の発表、参加をお待ちしています。

5-8 タスクシフト実技研修会

2か月間隔で計6回開催を目指します。

6. 共催・後援・協賛・協力事業

共催・後援・協賛・協力事業を会員利益となるよう積極的に取り組みます。

7. 総務事業

会の組織力を強化するために会員数の増加を目指します。そのために各事業部や研究班と連携を取り、京臨技運営が円滑に進むようにします。会計処理については外部委託を継続し、法人の公益性を追求、公益目的支出計画に準じた会計処理を行います。